



宮古島の生物群集

宮古島は平坦な島で、大部分が琉球石灰岩におおわれています。ほとんどの森は耕作地などに変わってしまいましたが、わずかに残っている森にはカラスバト、リュウキュウキンバトなどの野鳥の姿がよくみられます。それでは、地面のようすや生き物たちを観察してみよう。

1. 展示のなかに、大きなクモが網にかかった動物を食べています。大きなクモと網にかかった動物の名前を調べてみよう。

クモ ()
 網にかかった動物 ()

※このクモのエサになるのは大部分が昆虫で、展示のような大きい動物を食べるのはまれです。

2. 樹木には鳥類以外にどのような動物がいますか。探してみよう。

ホ乳類 ()
 ハ虫類 () ()

3. 沖縄島と宮古島の展示をくらべてみて、地面のようすにはどのような違いがあるでしょうか。くらべてみよう。

()

コラム：^{どじょう}土壌の違いについて

沖縄県内の土壌には同じような^{かつしよく}褐色系統の土壌も、性質の異なる2つの土壌があります。強酸性を示す「国頭マーヅ（色：^{せきかつしよく}赤褐色～黄色）」と、弱アルカリ性を示し、化石の保存に適していると言われる「島尻マーヅ（色：赤～^{おうかつしよく}黄褐色）」と呼ばれる土壌です。土壌の違いによって、生育する植物が異なります。

国頭マーヅ地域の山にはイタジイ林が発達し、島尻マーヅの地域の山には、タブノキやナガミボチヨウジが生育しています。

農作物では、国頭マーヅ地域はパイン栽培、島尻マーヅ地域にはサツマイモや葉タバコなどが栽培されており、土壌に適した作物栽培をおこなっています。